

湿地のグリーンウェイブ 2025・吉野川フェスティバル 2025

めざせラムサール！シオマネキ観察会

●日時：7月27日(日) 13:30～15:30 当日参加大歓迎！！

●集合場所：吉野川河口南岸グランド東詰（住吉 4 丁目）★干潟のそばに駐車場はあります。地図は HP で見てね

●参加費：無料・50 名（事前申込は必要ありません）小学生は保護者同伴

●持ち物：各自多めの飲み物（スポーツドリンクなど）帽子・マスク・長靴又はよごれてもよい靴★指先のでるビーチサンダル等はダメです。足や指を怪我します！！

★泥の中の生物観察したい方は、各自バケツ、ザル、バット、スコップ持参ください。

●協力：徳島大学上月研究室・河口研究室・阿波魚類研究会

●主催：とくしま自然観察の会 <https://shiomanekei.net>

●問合先：088-623-6783

●後援：徳島市教育委員会

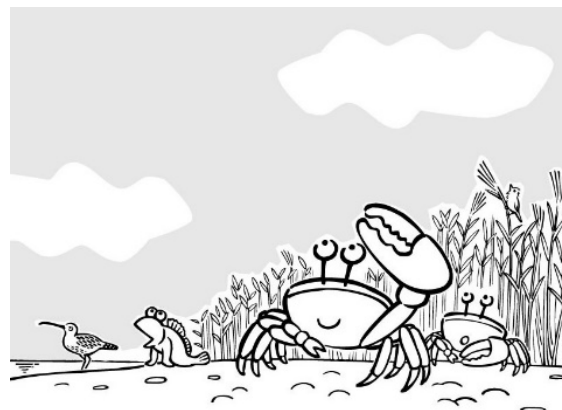
干潟の不思議、大発見しましょう！！

吉野川河口では、シオマネキなど各地の干潟で姿を消しつつある希少種があたりまえに観察できます。そして、干潟の泥の穴には ハゼ類やエビ類、多種多様な生きものがすんでいます。

シオマネキ、ハクセンシオマネキ、クシテガニ、トビハゼ、チゴガニ、ヤマトオサガニ、オサガニ、アベハゼ、チクゼンハゼ、ヒモハゼ、ヒメハゼ、マハゼ、巻貝、いろんな二枚貝・・・

見たことあるかな？？住吉干潟では、いろんな種類の生物がちょっとした環境の違いを利用して棲み分けているのがとてもおもしろいところです。

県庁所在地の入口に 豊かな干潟の自然が残っている場所は他にあるでしょうか？



★吉野川とラムサール条約

干潟、湖沼、河川、湿原など湿地（ウェットランド）と呼ばれる水辺環境は、生物多様性の宝庫です。ラムサール条約は、この水環境を保全するための国際条約です。日本には 現在 53ヶ所の湿地が登録されていますが、

★四国には まだひとつもありません。

身近にあってあたりまえに思っている吉野川河口・実は国際的に重要な湿地。私たちは吉野川河口干潟を、湿地の保全・再生と賢明な利用、交流や学習の場を理念とするラムサール条約湿地に登録して、「世界の吉野川として」国や自治体そして徳島の人々とともに吉野川河口干潟の環境を守り、次の世代へとつなげていくことを目指しています。

今年7月にジンバブエでラムサール条約会議が開催されます。



★ジンバブエでは 吉野川河口の素晴らしさを ポスターと動画でアピールします（QR コードから、幸田青滋氏制作・吉野川英語版動画ですが ぜひ視聴ください。）